

同窓会広報紙「陽菊 -ひなぎく-」発刊

卒業生の皆さん、いかがお過ごしですか？ 母校は4月に13回生を迎えました。社会人の卒業生も増え、時間が経つのが早く感じる今日この頃です。この1年ほどは様々な制約があり、人と会って話す機会がぐっと減りました。だからこそ、人とのつながりの大切さを思い知る期間にもなったのではないのでしょうか。

このような時期だからこそ、新たなつながりの場になればと思い、この度同窓会の役員が中心となって広報紙「陽菊 -ひなぎく-」を発刊することにしました。

この広報紙では、今後本格化する新同窓会の活動報告や学校で今行われている取り組みの広報、また卒業生や先生方へのインタビューなどを掲載する予定です。本紙を通して学生時代を懐かしむとともに、母校への関心を持ち、同級生や先輩、後輩に連絡を取るきっかけになればと思っています。3カ月に1度のペースで発行する予定ですので、楽しみに。

中等卒業生の連絡体制について

3月にもお伝えしたように、新同窓会は以下のメンバーが中心となって活動します。

- ・ 小黒 雄介 (中等1回生) ・ 大濱 萌花 (中等1回生) ・ 金端 秀太 (中等1回生)
- ・ 惣田 有咲 (中等3回生) ・ 横田 涼 (中等6回生)

また、同窓会の活動を本格的に始めるにあたり、各学年に連絡や告知をするための連絡係を設けます。同窓会の活動に関するお問い合わせや他学年の卒業生に連絡を取りたい場合は、以下のメンバー経由でお願いします。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1回生： 大濱萌花、金端秀太 | 2回生： 加藤あかね、森川希 |
| 3回生： 惣田有咲、青木紗羅 | 4回生： 内堀由貴、藤川理沙 |
| 5回生： 安野颯、數井千晴 | 6回生： 寺岡恵美、長井陽太郎 |
| 7回生： 江坂万莉菜、鍛冶勇騎 | |

あわせて、お問い合わせフォームも設定します。下記のURL、または右記のQRコードからアクセスできますので、お気軽に！

同窓会お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/JyN9kAfL5lEN4boi7>



23卒向け就活応援企画、始動。

同窓会企画の第一弾として、社会人・内定者の卒業生に就職活動に関する話を聞くことのできる、オンラインでのOBOG訪問を実施しています。LINEで就活相談やES添削を依頼できるほか、6/12(土)、13(日)にはZoomを用いたオンライン就活座談会を開催しました。現在、社会人・内定者21人、就活生14人が参加しています。23卒就活生向けの企画は来年3月まで定期的に開催予定です。

<p>土井麻里帆 (中等2回生)</p> <p>勤務先：富士通株式会社 専攻：科学技術社会論 業種：IT、コンサル、マスコミ 国立研究開発法人 就活の軸：科学技術の活用</p> <p>【やってよかったこと】 ・短期でもインターン ・早めの本選考 ・自分なりの自己分析 ・相談→実践/先輩/エージェント</p>	<p>就活スケジュール</p> <p>3年6月：夏期インターン合戦 3年9月：半日～2日間インターン (3) 3年10月：合戦・各社イベント 1日間インターン (3) 3年12月：本選考面接 (1) 3年1月：冬期インターン (1) 各社イベント 3年2月：本選考面接 (5) 各社イベント・合戦 3年3月：本エントリーES提出 最終面接 →第3志望枠内々定 4年4月：本選考面接 最終面接 フォロー面接 4月中旬：第一志望枠から内々定→承認</p>
--	--

社会人・内定者のプロフィール一例

■卒業生だより

金端 秀太さん [中等1回生]

はじめまして、あるいはお久しぶりです。

附属を卒業して6年が経ちました。こういう文章では、大抵「早いもので」という言葉がつけられがちですが、個人的には「まだ6年か」というのが正直な感想です。どちらかと言えば、大学を卒業して2年経ったことのほうが驚きです。制服を着ていた頃は懐かしく、かなり昔のこのように感じます。金銭感覚も変わり、お酒の美味しさも覚え、日々部活や勉強に励んでいたあの頃の自分にはもう戻れないのでそう思うのでしょう(笑)。

最近では附属の生活を振り返ると、楽しい思い出だけでなく、失敗した経験や自分が未熟だった場面を思い出すことも多いです。成人式の頃に振り返ってもそんなことはありませんでした。決して後悔ではなく、今の自分だったら違う行動や考え



Shuta Kanahashi

中等1回生、6年間陸上部に所属。在学中は、生徒会や文化祭実行委員として活躍。現在は大学職員。

方をしていただろうと思返します。このように思い返せるのは、少しは大人になった証かもしれません。まだ6年かと感じる理由は、決して墮落だけではないようです。

ともあれ附属では周囲の優しさに支えられていたなとつくづく感じます。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

学校NEWS 短 信

7回生卒業

2021年3月1日、第7回卒業証書授与式が開かれ、7回生135人が門出を迎えた。これで中等教育学校の卒業生数は1,043人となった。今後7回生がそれぞれのフィールドで、思う存分活躍できることを祈念。

5人の先生が離任される

副島先生、シドニー日本人学校へ

2020年度3月末をもって、5名の先生方が母校を離任された。

▼離任された先生方

足立 雄平先生	定年退職・県立西神戸高等特別支援学校へ
副島 麻衣先生	シドニー日本人学校へ
木下 宏史先生	附属学校部専門的研究・教育職員へ
植田 好人先生	兵庫県立明石北高等学校へ
佐藤 聡先生	西宮市立今津中学校へ

2013年度から本校で理科・生物を担当された副島麻衣先生は、シドニー日本人学校へ異動。本校では、コーラス部や吹奏楽部の顧問を担当された。明るい性格で多くの生徒から慕われた。

公式YouTubeチャンネル発足

母校の広報用のYouTubeチャンネルが本年4月に発足。このチャンネルでは、中等2回生の三浦さんによるドローンを使った校舎の空撮映像や、卒業生が学校を紹介している動画などがアップロードされている。ぜひ一度ご覧あれ↓

<https://www.youtube.com/channel/UCf4FrMA0Cu8kQCtPsNMzHjw/videos>



■先生だより

齋木 俊城 副校長

COVID19 がまだまだ日常に大きな影響を及ぼしていますが、卒業生のみなさん、元気に過ごしていますか。

附属中等教育学校の齋木です。附属で働き始め、8年目。教員生活の最後を附属で迎えることができ偶然に、感謝しています。

2021(令和3)年3月に7回生135名が卒業し、1回生から合わせて卒業生1043名になりました。2000名を超えるのは創立20年を迎える頃になる予定です。4月には、13回生125名が入学し、中等教育学校の仲間入りをしました。6年間、どのように成長するか楽しみです。

1回生は卒業して7年目、本校で過ごした時間よりも長い時間が経過しています。生徒として在学する年数には限りがありますが、卒業生は永遠です。中等教育学校卒業生として、豊かな時間を過ごしてもらいたいです。そして、いつも後輩たち、在校生、学校のことを気に留めてもらえると

幸いです。

在学中にもいろいろな変化がありました。本校はどんどん変化していきます。大切なことは変わりませんが、いろいろなことは時代の変化に対応し、変化していきます。そんなみなさんの母校、温かく見守り、応援してください。

2029(令和11)年、創立20周年記念式典を行う際、中等教育学校卒業生の力を発揮してもらいたいです。本校卒業生はまだまだ少ないですが、前身校の卒業生のみなさんとも力を合わせて、みなさんの同窓会が素晴らしい同窓会に発展することを祈念いたします。



Toshiki Saiki

2014年4月に本校に着任、
2015年4月より現職。豊富な経験で本校の舵を取る。

～同窓会からのお知らせ～

■ **23卒向け就活応援企画**：p.1で紹介した、就活応援企画に関して、興味のある方はぜひ各学年の連絡係まで。既に就職活動を終えた社会人、内定者の皆さんのご参加もお待ちしております。

■ **本広報紙に関するお問い合わせ**：「あの先生/先輩の話を聴きたい」、「こんなトピックを取り上げて欲しい」などの要望や、本号を読んだ感想を下記のフォームにて受け付けます。離任された先生へのメッセージを含め、どしどしご投稿ください。

広報紙お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/PRyVcpmkeqy4ALDy5>



【編集後記】

こんにちは。校正担当、中等一回生の大濱です。(一丁前に編集後記を書いています、この広報紙を作り上げたのは小黑くんです。拍手!)実は昨年度まで教材編集の仕事をしていたのですが、今回の広報紙は、先生方や同級生、後輩たちが目にするものと思うと、そのときと同じくらい緊張しました。もし誤字脱字や誤用を見つけたら、見ないふりをするか、こっそり教えてください。最後に、お忙しいなか原稿を引き受けてくださった齋木先生に厚く御礼申し上げます。

ではまた次号でお会いしましょう。



(次号は9月30日発行予定です。)